

解答

②・④・⑥

解答解説

① 不正解

選択肢の和訳

観光広告は一般に、文化を柔軟で絶えず変化するものとして示し、それによって旅行者が古く安定した伝統ではなく、現代的な変化に出会う準備をさせている。

本文の対応箇所

第1段落

Tourist advertisements frequently encourage this expectation by presenting culture as something ancient, stable, and unique to a particular community.

「観光広告は、文化を古く、安定しており、特定の共同体に固有のものとして示すことで、このような期待をしばしば強めている。」

解説

本文では、観光広告は文化を ancient, stable, and unique「古く、安定し、固有のもの」として示すと述べられている。選択肢の flexible and constantly changing「柔軟で絶えず変化する」は本文と反対である。

② 正解

選択肢の和訳

儀式や伝統的な製品を観光客向けに変更すると、本来の意義が弱まり、文化的慣習が商品へと変えられる可能性がある」と批判する人もいる。

本文の対応箇所

第2段落

Critics sometimes argue that such practices weaken the meaning of a tradition and transform it into a commercial product.

「批判する人々は、そのような行為が伝統の意味を弱め、それを商業的な商品へと変えてしまうと主張するこ

とがある。」

解説

選択肢の weaken their original significance は本文の weaken the meaning of a tradition に対応している。また、turn cultural practices into commercial goods は transform it into a commercial product の言い換えである。したがって本文と一致する。

③ 不正解

選択肢の和訳

歴史的証拠によれば、古いものと考えられている伝統の大部分は独自に発達し、近隣社会や輸入された材料からほとんどまったく影響を受けなかった。

本文の対応箇所

第3段落

Many customs now regarded as ancient were developed relatively recently or were influenced by neighboring cultures.

「現在では古いものと考えられている多くの慣習は、比較的最近になって生まれたか、近隣の文化から影響を受けていた。」

Traditional clothing may incorporate imported materials, while national dishes may depend on ingredients introduced from distant regions.

「伝統衣装が輸入された材料を取り入れていたり、国民的料理が遠方の地域から伝えられた食材に依存していたりする場合もある。」

解説

本文では、伝統は近隣文化や輸入品の影響を受けてきたと述べられている。したがって、developed independently「独自に発達した」や unaffected「影響を受けなかった」が本文と反対である。

④ 正解

選択肢の和訳

文化交流は人類の歴史を通じて行われてきたため、外部からの影響があるという事実だけでは、文化的伝統

WPM Over 150 を目指す

が真正であるかどうかを判断できないと本文は述べている。

本文の対応箇所

第3段落

Cultural exchange is therefore not an exception to cultural history but one of its central features.

「したがって、文化交流は文化史における例外ではなく、その中心的特徴の一つである。」

第4段落

If authenticity is defined as the complete absence of outside influence, few cultural traditions could ever be considered authentic, since communities have exchanged goods, beliefs, and artistic practices throughout history.

「真正性を外部からの影響が完全に存在しないことと定義するなら、真正であるとみなせる文化的伝統はほとんどないだろう。共同体は歴史を通じて、品物、信仰、芸術的慣習を交換してきたからである。」

解説

本文では、文化交流は歴史上の中心的特徴であり、ほとんどの伝統が外部の影響を受けていると説明されている。したがって、外部の影響があるだけで真正性を否定することはできない。

⑤ 不正解

選択肢の和訳

観光客向けに作られた公演は必ず地域文化を破壊する。商業的な目的があると、芸術家や若い世代は伝統技能に価値を見いだせなくなるからである。

本文の対応箇所

第4段落

A performance arranged for tourists may still provide income for local artists, encourage younger generations to acquire traditional skills, and strengthen a community's sense of identity.

「観光客向けに企画された公演であっても、地域の芸

術家に収入を与え、若い世代に伝統技能の習得を促し、共同体の一体感を強めることがある。」

Commercial activity does not necessarily destroy cultural value.

「商業活動が必ずしも文化的価値を破壊するわけではない。」

解説

本文では、観光客向けの公演が地域の芸術家や若い世代に利益をもたらす可能性があると述べられている。したがって、inevitably destroy「必ず破壊する」が誤りである。

⑥ 正解

選択肢の和訳

経済力の不平等によって、共同体は現代の現実よりも外部の人々の期待に合う、単純化された、あるいは異国的な文化像を示すよう圧力を受けることがある。

本文の対応箇所

第5段落

Tourists and businesses often possess greater financial power than the communities whose culture is being displayed.

「観光客や企業は、その文化を披露している共同体よりも大きな経済力を持っていることが多い。」

As a result, local people may feel compelled to modify their customs according to outsiders' expectations.

「その結果、地域の人々は、外部の人々の期待に合わせて自分たちの慣習を変更するよう強いられると感じることがある。」

Visitors may demand colorful ceremonies, exotic costumes, or simplified stories, even when these representations fail to reflect contemporary life.

「そのような表現が現代の生活を反映していなくても、訪問者は色鮮やかな儀式、異国的な衣装、単純化された物語を求めることがある。」

解説

WPM Over 150 を目指す

選択肢の economic inequality は、観光客や企業と地域共同体の経済力の差に対応している。また、simplified or exotic versions は本文の exotic costumes or simplified stories に対応する。したがって本文と一致する。

⑦ 不正解

選択肢の和訳

一つの正しい伝統の形を定めれば、意見の相違を防ぎながら、地域ごとの形や少数派の解釈も平等に扱えるため、公的な保護は常に有益である。

本文の対応箇所

第 6 段落

Official recognition can provide funding and prevent valuable traditions from disappearing.

「公的な認定は資金を提供し、価値ある伝統が消滅するのを防ぐことができる。」

At the same time, selecting one version of a custom as the “correct” version may exclude regional variations or minority interpretations.

「同時に、ある一つの慣習を『正しい』形として選ぶことで、地域的な違いや少数派の解釈が排除される可能性がある。」

解説

本文では、公的な保護には利点だけでなく問題もあると述べられている。一つの形を「正しい」と定めると、地域差や少数派の解釈が排除される可能性がある。したがって、always beneficial「常に有益」と equally represented「平等に扱われる」が誤りである。

⑧ 不正解

選択肢の和訳

筆者は、共同体が外国からの影響を拒み、遠い過去に行われていたとおりに慣習を正確に保存する場合にのみ、文化的伝統は生き続けると結論づけている。

本文の対応箇所

第 8 段落

Authenticity, then, should not be understood as perfect faithfulness to an imaginary past.

「したがって、真正性は、想像上の過去に完全に忠実であることとして理解すべきではない。」

A culture can change while preserving a meaningful connection to its history.

「文化は、その歴史との意味あるつながりを保ちながら変化することができる。」

Culture remains alive not because it resists every influence, but because communities repeatedly reinterpret it as circumstances change.

「文化が生き続けるのは、あらゆる影響を拒むからではなく、状況の変化に応じて共同体が繰り返し文化を再解釈するからである。」

解説

本文は、文化が変化しても歴史とのつながりを保つことは可能だとしている。文化は外国の影響をすべて拒むことによってではなく、共同体が状況に応じて再解釈することによって生き続ける。したがって不一致。

全訳

文化的に真正なものを決めるのは誰か

人々が外国へ旅行するとき、しばしば「本物の」文化に出会うことを望む。現代生活の影響を受けていないように見える伝統料理、地域の祭り、歴史的建造物、手作りの品物などを探すことがある。観光広告は、文化を古く、安定しており、特定の共同体に固有のものとして示すことで、こうした期待をしばしば強めている。しかし、文化は、元の状態のまま保存された博物館の展示物ではない。文化は、人々が社会の変化、技術の発達、移住、他の社会との接触に対応するにつれて、絶えず変化している。

文化の真正性という考えは、伝統が観光客向けに披露されると、特に複雑になる。もともと宗教儀式と結び付いていた踊りが短縮され、ホテルの舞台で披露されることがある。地域の市場では、かつて儀式のためだけに作られていた品物の安価な複製品が販売されるよ

WPM Over 150 を目指す

うになる場合もある。そのような行為は伝統の意味を弱め、それを商業的な商品へと変えてしまうと批判する人もいる。この考えによれば、文化的慣習は、訪問者を満足させるために変更された時点で、その真正性を失うことになる。

しかし、この批判は、観光が現れる以前には、伝統が純粋で変化しない形で存在していたと仮定している。歴史的証拠は、しばしばそうではなかったことを示している。現在では古いものとみなされている多くの慣習が、実際には比較的最近になって生まれたものであったり、近隣の文化から影響を受けていたりする。伝統衣装が輸入された材料を取り入れている場合もあれば、国民的料理が遠方の地域から伝えられた食材に依存している場合もある。祭りさえ、共同体が現在の必要に応じて過去を再解釈するにつれて、新たな儀式を取り入れることがある。したがって、文化交流は文化史における例外ではなく、その中心的特徴の一つなのである。

真正性を、外部からの影響が完全に存在しないことと定義するなら、真正であるとはみなせる文化的伝統はほとんどないだろう。共同体は歴史を通じて、品物、信仰、芸術的慣習を交換してきたからである。重要なのは、伝統が変化したかどうかではなく、それを実践する人々が、その伝統を引き続き意味のあるものと考えているかどうかなのかもしれない。観光客向けに企画された公演であっても、地域の芸術家に収入をもたらし、若い世代に伝統技能の習得を促し、共同体の一体感を強めることがある。商業活動が必ずしも文化的価値を破壊するわけではない。

それでも、経済的な圧力が深刻な問題を生み出すこともある。観光客や企業は、その文化を披露している共同体よりも大きな経済力を持っていることが多い。その結果、地域の人々は、外部の人々の期待に合わせて自分たちの慣習を変更するよう強いられていると感じることがある。訪問者は、そのような表現が現代の生活

を反映していなくても、色鮮やかな儀式、異国的な衣装、単純化された物語を求めるかもしれない。極端な場合、共同体の人々が、主として観光産業によって作られた文化的イメージを演じる人になってしまうこともある。

政府が文化遺産を定義し、保護しようとするときにも、別の問題が生じる。公的な認定は資金を提供し、価値ある伝統が消滅するのを防ぐことができる。その一方で、ある一つの慣習を「正しい」形として選ぶことにより、地域ごとの違いや少数派の解釈が排除される可能性がある。生きた伝統には通常、意見の相違、変化への適応、個人の創造性が含まれている。ひとたび当局が、その伝統をどのように実施すべきかについて厳しい規則を定めれば、保護する行為が、その伝統を存続させてきた柔軟性そのものを意図せず制限してしまう可能性がある。

したがって、文化の保存は、伝統そのものを変化してはならない物体として扱うのではなく、その伝統を維持している人々を支援するときに最も効果的になる。共同体は、自分たちの文化がどのように表現され、教えられ、変化させられるかを決める際に、決定的な発言権を持つべきである。観光客、研究者、政府、企業などの外部の人々が支援を提供することはできるが、何が本物であるかを自分たちだけで判断できると考えるべきではない。

したがって、真正性は、想像上の過去に完全に忠実であることとして理解すべきではない。文化は、その歴史との意味あるつながりを保ちながら変化することができる。より重要な問題は、その変化を誰が管理し、誰がその利益を得るかということである。文化の発展が、その文化に直接関わる人々の選択を反映しているとき、適応は衰退ではなく、活力のしるしとなりうる。文化が生き続けるのは、あらゆる影響を拒むからではなく、状況の変化に応じて共同体が繰り返し文化を再解釈するからなのである。